

高校生が、本気で考えた！本気で作った！ “地産地消”で生ごみを減らせ！「中津キエーロ」大作戦！！

■生ごみキエーロとは？

「生ごみキエーロ」とは、神奈川県葉山町の松本信夫氏が考案された生ごみ処理機です。木製の箱の中に黒土を入れ、黒土の中のバクテリアの働きで生ごみを分解する仕組みになっています。正しく使えば、虫や臭いが発生しにくいといった特徴があります。

■「生ごみキエーロ」の普及促進に向けて

中津市では、循環型社会形成の推進、ごみ焼却施設である「中津市クリーンプラザ」や最終処分場である「中津市一般廃棄物埋立処分場」を将来にわたって長く使い続けることができるよう施設の負担軽減、ごみの焼却による温室効果ガスの削減などに向けて、ごみの減量・資源化の推進が喫緊の課題となっています。

家庭から出る「燃やすごみ」の中で、約40%と最も多くを占める生ごみの減量化のために、平成29年度からモニター制度を設け、生ごみ減量の実証実験に取り組んでおり、「生ごみキエーロ」の減量効果が実証されました。

《「生ごみキエーロ」実証実験の結果》

| 区 分 | 1日あたりの平均投入量 | 年間の生ごみ削減量 |
|-----------------------|-------------|----------------|
| 1人あたり | 114g | 約41.6kg |
| 1世帯あたり (1世帯平均2.1人) | 239g | 約87.2kg |

※1世帯平均人員は、平成30年度末

そこで、「生ごみキエーロ」モニターのさらなる普及促進に取り組むこととしましたが、それには、モニターの皆さんからご要望をいただきました数種類(大、中、小)のサイズ展開が必要な状況でした。

■誰に作ってもらおう・・・？

数種類のサイズ展開をするには、それらの設計や試作が必要です。

誰にそれをしてもらうのか・・・？

1. 地域の中にあること
2. 設計や試作の技術があること
3. 地域貢献として担っていただけること

そうした観点でご相談申し上げ、快諾をいただけたのが、中津東高「機械工作部」の生徒の皆さんです。

中津東高の生徒の皆さんが、“本気で考えた！”“本気で作った！”中津市版「生ごみキエーロ」(以下、「中津キエーロ」という。)をご覧ください！

中津東高 機械工作部の皆さんの試作の様子



■「中津キエーロ」、今後のストーリー

こうして、中津東高の生徒の皆さんによる、「中津キエーロ」の試作品が完成しました。この試作品完成を受けて、新たなモニター用にサイズの異なる「中津キエーロ」の製作に取りかかります。

なお、その製作には、今年度に環境保全活動への指定寄附としていただいた寄附金を活用します。

◇寄附金・・・352 千円

（内訳）・株式会社 マルミヤストア 様（200 千円）

・株式会社 新鮮マーケット 様（152 千円）

◇「中津キエーロ」のストーリー

<原材料> 中津市の間伐材を利用します。



<設計> 中津東高等学校機械工作部の生徒さんが設計しました。



<製作> 中津市独自の方式を検討中です。ご期待ください！



<利用> 中津市民の皆さんに利用していただきます。

「中津キエーロ」

中津市民の皆さんに「使ってみたい！」とお願いいただける、
中津市オリジナルの地産地消ストーリーを展開します！！

【問合せ先】

環境政策課 環境政策係

TEL 0979-62-9071